

令和7年度

事業計画書

一般財団法人 西日本小型自動車競走会

国内の経済状況を見ると、アフターコロナ期に移行して人の移動もほぼコロナ前の状態に復帰した一年であったが、経済は緩やかに回復傾向にあるものの、依然として資源やエネルギー価格の高騰、猛暑などによる物価上昇、また経済成長と賃金上昇を目指したデフレ脱却に向け、各種政策が進められている一方で、少子高齢化や人手不足といった社会的課題への対応が求められる中、内外では環境対策やデジタル化への投資が将来的な成長基盤となるよう推進されている。オートレース業界においては、飯塚場及び山陽場でミッドナイトレース、オーバーミッドナイトレースを開催しているほか、様々な施策により売上は前年に比して上昇傾向にあるものの収益性の悪化が顕在化している状況が続いている。現在、飯塚場においては、令和7年度6月初旬に飯塚小型自動車競走場メインスタンドがオープン予定されている。山陽場においては、周回通告表示装置の全面更新が予定されている。また、第39期選手候補生の募集が行われており、両場に配属があった場合については、養成、及びデビューが予定されている。

このような中、本財団は令和7年度についても、5場体制の下、小型自動車競走法に基づき指定された競走実施法人として、事業運営の健全化を図りつつ、小型自動車競走の公正、安全かつ円滑な実施、審判、選手管理、番組編成及び検査等の業務について効果的、効率的に実施するとともに、将来において持続可能な事業運営を行っていくため、統一救護マニュアルにおける救護訓練及び指導を定例的に実施するなど、業務の見直し等も引き続き行い、競走実施法人としての使命と責任を果たす。

なお、令和7年度については山陽場のほか、飯塚場では初の借り上げによる浜松市主催のオーバーミッドナイトレースの開催が予定されている。

特に、平成28年度から本格実施している飯塚場のミッドナイトレース及び平成31年度から本格実施している山陽場でのミッドナイトレースにおいては、試行的な施策としてレース数の増加や競合し合わない発走時間への変更等などが計画されており、またオーバーミッドナイトレースにおいては、ナイター開催との競合を回避することで開催日数の拡大を図り、業界全体の最適化を目指しているが、これらの対応やその他の開催を含む競技運営を更に円滑に実施するためには、職員の資質及び技術の向上を目的として、一般財団法人東日本小型自動車競走会との職員の相互派遣による業務実務研修を引き続き実施するとともに、本会業務に伴う組織体制のあり方についても検討する。

その他、施行者や選手会等関係団体と緊密に連携し、既存のお客様の満足度の向上、新たなお客様を増やすため、お客様のご意見、各種アンケートの結果等を基に各種方策を実施することにより、小型自動車競走その他モーターサイクルスポーツの普及振興並びに広報活動を図ることとする。

1 競技関係業務の実施

小型自動車競走施行者から一括受託した業務を公正かつ安全に実施するとともに、お客様の要請に応えるため競走関係業務の不断の検証・改善を行い、魅力ある小型自動車競走業務を実施する。

また、小型自動車競走振興法人が示した審判要領、番組要領、検査要領及び管理要領等について、顧客満足度の向上及び小型自動車競走事業の持続的発展の観点から、小型自動車競走振興法人、施行者等関係団体と協議し、必要に応じて改善を図る。

(1) 小型自動車競走施行者からの受託業務の実施

令和7年度における小型自動車競走場別（飯塚場、山陽場）、小型自動車競走施行者別（飯塚市、山陽小野田市、浜松市）開催予定日数及び受託業務内容は、別表1のとおりである。また令和7年度における特別オートレース等の実施は、別表2のとおりである。

(2) 審判に関する業務

常に冷静沈着にして節度ある態度を保持し、確固たる信念に基づき厳正に小型自動車競走実施規則を適用し、正確かつ迅速に審判業務を遂行するとともに、小型自動車競走を公正安全かつ円滑に実施する。

さらに、適正な審判実務を行うため小型自動車競走振興法人が定める各要領に基づき、審判訓練及び救護マニュアルに基づき救護訓練をより充実させるほか、小型自動車競走振興法人が開催する判定研修会及び担当者会議に職員を派遣し、専門知識及び技能の習得向上を図る。

その他、判定の統一を図るため、一般財団法人東日本小型自動車競走会及び本財団が委託を受けて実施するSGレースに審判長を相互に派遣する。

(3) 番組編成に関する業務

常に公正無私的態度をもって、選手、競走車の能力及び小型自動車競走の特性を的確に把握し、公正安全な競走の実施を主眼とすることはもとより、お客様に喜ばれ車券購買意欲を高められるような番組編成を行うとともに、魅力ある企画レースを実施する。また、選手のハンデについて透明性をより高めるため、引き続き関係団体と協議し改善を図る。

(4) 検査に関する業務

競走の公正安全及び事故防止を図るため、競走車に係る各種確認・検査を検査の要領等に基づき厳正に実施する。また、ナイター開催及びミッドナイト開催に使用する消音マフラーの選手への配布及び回収、修理手続き等を適正に管理する。

(5) 選手管理に関する業務

競走の公正安全及び事故防止のため、選手の出場資格の確認、健康状態その他出場適正の検査を行うとともに、選手の保護安全を図り、選手を最善の状態で開催に出場させる。また、ミッドナイト開催（オーバーミッドナイト開催含む）の増加に伴う深夜帯の開催が多くなり、選手の精神衛生上の健康を保つためリラクゼーションに主眼を置いた措置について検討を行う。

また、選手宿舎における選手の宿泊及び食事の提供についても、保健衛生に留意するとともに、火災予防、選手の安全管理及び健康管理の強化を図り、各感染症等の予防対策を徹底する。

さらに、公正安全な競走の実施を確保するため、選手の面会及び外出の制限、管理地区への通信機器等の持ち込み禁止、入場許可を受けていない者（非参加選手を含む。）の入場制限等を徹底する。

2 東西競走会の実務研修に関する事業

業務実務研修

東日本小型自動車競走会と相互に職員を派遣し、職員の資質及び技術の向上を目的として、総合的な実務研修（審判、管理、番組、検査の各業務）を引き続き実施する。

3 その他の事業

(1) 選手会に対する支援

一般社団法人全日本オートレース選手会が実施するイベント、訓練等に対し支援する。

(2) 選手共済会に対する支援

一般財団法人全国小型自動車競走選手共済会の円滑な事業運営のための各種事務を支援する。

(3) 小型自動車競走振興法人との連携、支援

小型自動車競走振興法人と連携して様々な情報交換を行い、活性化策を積極的に講ずるほか、第39期生の配属予定競走場での実地訓練の支援を行う。

(4) モーターサイクルスポーツ等に関する事業

モーターサイクルスポーツの競技者及び愛好家等が実施する事業を支援するとともに、モーターサイクルスポーツ関係団体と協力連携し、モーターサイクルスポーツの普及振興を図る。

(5) 諸会議

関連法規及び定款の規定に基づき理事会、評議員会の円滑な運営を行うほか、本財団の円滑な運営、競走業務の適正な実施並びに職員の意識の共有及び資質の向上のため、幹部会議、イベント企画会議等の会議を開催する。

(6) 人事、労務管理及び福利厚生

職員及び開催従事員の健康管理に充分配慮し、職員等の採用を含む適正な人事配置、職場の状況等を考慮し、多様な勤務体制や異なる勤務時間に柔軟に対応するとともに、良好な職場環境を維持し、本財団業務を適正に実施する。

また、職員、嘱託職員及び開催従事員に対して、諸規定や禁止事項に関する研修等を実施し、法令遵守の意識を高め、コンプライアンスの強化を図る。

感染症対策については、自主的な判断と取り組みを基本としつつ、手指消毒用アルコールや空気清浄機等の設置を継続して実施する。

さらに、年金制度改正法に基づく短時間労働者の社会保険加入条件については、令和7年度以降も本財団に適用されることを踏まえ、該当する開催従事員に対して適切に対応する。

(7) 施行者等との協力体制の強化

円滑な小型自動車競走の事業運営のため、施行者及び小型自動車競走事業包括的民間委託業者との協力体制を強化する。また、両施行者が実施する事業運営に付随する事業に対し可能な限り協力を行うものとする。

(8) 持続可能な事業運営等の検討

小型自動車競走実施法人として、将来において持続可能な事業運営を実現するため、開催日数の増加、飯塚場と山陽場での同時開催、更にはオーバーミッドナイトレースの開催等を適切に実行し、飯塚及び山陽の開催施行者による収益増加施策に対応するため、職員等の新規採用を含む増員など、効率的かつ効果的な組織体制及び勤務体制のあり方について、引き続き検討する。

別表1 (施行者からの受託業務)

競走場	施行者名	開催予定日数	競技等関係	受託業務内容
飯塚	飯塚市	83日	通常開催	一括受託
		84日 (施設等改善競走 6日を含む)	ミッドナイト開催 (オーバーミッドナイ ト開催36日を含む)	一括受託
	浜松市	4日	オーバーミッド ナイト開催	一括受託
山陽	山陽小野田市	74日	通常開催	一括受託
		80日	ミッドナイト開催 (オーバーミッドナイ ト開催32日を含む)	一括受託
	浜松市	8日	ミッドナイト開催	一括受託

別表2 (特別オートレース等の実施)

特別オートレース等の名称	開催 競走場	開催日
SG第57回 日本選手権オート レース	飯塚	令和7年10月29日～11月3日
特別GI 共同通信社杯プレミア ムカップオートレース	山陽	令和7年9月19日～9月23日